

2013-14 ROTARY INTERNATIONAL DIST. 2710



ガバナー月信

Vol. 12

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014年 6月号

SHIMONOSEKI ROTARY CLUB



Governor's Message

『親睦活動月間』

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区ガバナー

沖田 哲義

GOVERNOR: Tetsuyoshi Okita

「一人一人のニーズに焦点を当てる個人奉仕だけではなく、人類に奉仕する協同活動も重要であると、私たちは信じています。協同による力は無限であり、多くのリソースをもたらし、人生を豊かにし、視野を広げるものです。親睦のネットワークは、民族や国家といったさまざまな違いを超え、寛容の精神を導くものです。」

この説明は、いかにもロータリー的です。ロータリーの解説書では、定義の説明はせず、その言葉の目的やこれに関連する事項等を説明して、定義の説明に替えるということをよく行います。この親睦に関する説明もその典型的な例の一つです。ですから、非常に分かりにくくなるのです。

第3に、国際ロータリーには、理事会によって承認されたロータリー親睦活動グループが、世界中に64もあるという点です。例えば、サイクリングの会、囲碁の会、切手の会等々です。このロータリー「親睦」活動グループとは、共通の趣味、関心事を持つロータリーの会員、家族、ローターアクターが、クラブを超え、地区を越えて世界中から集まり、活動を「共」にすることで知識を深め、技術を高め合いながら「友情」を深めていこうという集まりとされています。

以上の3点を総合しますと、ロータリーでいうところの「親睦」とは、「世界のロータリアンが、その違いを乗り越えて共同(協同)し、仲間となって、友情を育むこと」であろうと解釈されます。

ここで思い出されるのが、あの有名な「論語・子路」の中の孔子の言葉です。

「子曰く、君子は和して同せず、小人は同じて和せず」

この意味は、優れた人物であれば協調はするが、主体性を失わず、むやみに同調したりはしない。つまらない人物はたやすく同調するが、心から親しくなることはない、ということだとされています。

この言葉は、正にロータリーにおける「親睦」を意味しているのではないかと思います。洋の東西を問わず、賢い人は、同じようなことを考えるものだと、ただただ感心するばかりです。

地区内ロータリアンの皆さん、今日は。

今月は「親睦活動月間」です。そこで、これについての私の意見ない感想を、以下のとおり申し述べます。

皆様よくご存じのとおり、ロータリークラブは、ポールハリス外3名が、1905年2月23日にシカゴにおいて、会員相互間の扶助と「親睦」を目的にして設立されたものです。したがって、設立当初より親睦という活動が中心に座っていたのです。しかし、この親睦という概念は、一見すると簡単そうですが、よくよく検討しますと中々の厄介者です。そこで、今回は、この親睦の定義を探ってみたいと思います。

まず第1に手続要覧(2010年度版)の記載です。この15頁を見ますと、親睦という表題はありますが、その内容の説明は一切ありません。但し、FELLOWSHIPという英語の文字が括弧書きで記載されています。そこで、このフェロウシップを英語の辞書で調べてみますと、「仲間であること;交友;共同;(同好者の)団体;(同業)組合;(大学の)特別研究員の地位(給与)」という訳が載っています。一方、FRIENDSHIPという言葉もあります。これを英語の辞書で調べてみますと、「友情;親交」と訳されています。更に、親睦という日本語を和英辞典で調べてみますと、「friendship; intimacy」と記載されています。このintimacyは「親密;密通」と訳されています。また、4つのテストの3項では「好意と友情深めるか」と訳されていますが、このうち「友情」の原語は「FRIENDSHIP」となっています。

第2に、戦略計画における中核的価値観の一つである「親睦」については、次のとおりであると説明されています。

CONTENTS

- ガバナーメッセージ/目次 P1
- 「ロータリー親睦活動月間」が意図すること P2
- RA第37回年次大会報告 P3
- G5 IM報告 P4
- G12 IM報告 P5
- ガバナー月信編集委員会委員長挨拶 P6
- 会員増減・出席率 P7
- 新入会員紹介/物故者への哀悼/文庫通信/奥付 P8





「ロータリー親睦活動月間」が意図すること

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区 パストガバナー 大之木 精二

ロータリーの中心概念が「親睦と奉仕」であることは、ロータリアンの誰しもが知悉するところであり、「ロータリーは親睦に始まり親睦に終る」と言われる所以が、クラブの中で会員同士が培った親睦のエネルギーを、世の為人の為の奉仕活動に会員を駆り立てるエネルギーに転化し、その好循環が次第に奉仕に邁進する人を創っていくことにあるというのも、よくよく聞かされて来ました。日本のロータリアンは、親睦と言えば身近な視点での意義や効用といった理念的解釈に拘泥する傾向があり、それはそれで大事なことでありますが、もっと率直な意味における親睦—友情が増進するところの楽しみといった直截的な受け止め方があってもよいのではないかと、私は考えています。

ヒュー・M・アーチャー RI元会長(1989～90年度)がその年度に掲げたテーマは、「ロータリーを楽しもう(Enjoy Rotary)」でした。当時翻訳諮問委員の一人であった佐藤千寿氏の述懐に依りますと、余りにも簡単平明な為その真意をうまく一語に凝縮して日本語で表現するのが難しく、何の前提もなしに只「楽しもう」では一般の人々にロータリーをお遊びの会と誤解される懸念があつていろいろ検討したけれども、万策尽きて結局その儘素直に直訳したそうであります。アーチャー氏は無論のこと単純な意味で「Enjoy」を主張しているわけではありませんが、彼は殊更ロータリーの趣味、職業別親睦活動を熱心に推奨しており、それが発展的に様々な段階を辿って「ロータリー親睦活動(Rotary Fellowships)」と認知改称され、RIの国際奉仕部門の公式プログラムに採択され今日に及んでいます。

新しい「手続要覧(2013年度版)」では「ロータリーのプログラム」の項に記載されていますが、前述のように従前の「手続要覧」ではこれが国際奉仕のプログラムとされていたことに注目すべきであります。即ち「ロータリー親睦活動」を、共通の職業的関心やレクリエーションに就いて関心を持つロータリアン同士の国際親睦と親善を助長する、重要な活力の一つであるとRIは見做しているからです。単なる認識以上の力の入れ方と言ってもよいでしょう。

“Fellowships”とsが付いているのは、「同好者の集まり。」「同じ趣味をもつ者の会」といった複数のグループを意味していると理解すれば、夫々のレクリエーションを楽しむロータリアン、家族、ローターアク

ター等が、クラブや地区や国の枠を超えて活動に参加し、以てRIは、知識を深め技能を高め合い乍ら友情の輪を拡げていくことの価値の大きさを認めていると言えるでしょう。そのような親睦活動に、積極的な参加を呼びかけているのが今月の「ロータリー親睦活動月間」の趣旨なのです。ロータリーの最大の功德は、何と言っても広く知り合いができることですから、理屈や理論は先ず措いて素直に楽しむことから始めようといった、或る意味では割り切った善意の発想がそこにはあるのかも知れません。

然しRIは親睦活動のあり方に関し様々のルールを設け、(ロータリー章典(21.060)(43.010)、楽しみが放縦に流れないように飽く迄ロータリー運動推進に役立つ楽しみ方であるべしと釘をさしている点も忘れてはなりません。ロータリーでは余りFriendshipという言葉を使いませんけれども、私はFellowshipの前哨に屈託ない交歓や親交、即ちFriendshipが存在すると考えているのですが如何でしょうか。

RIの理事会が承認した「ロータリー親睦活動グループ」は現在64もあり、これらの会合に出席した場合はメイクアップとして認められます。RI国際大会に於ける「友愛の家」で様々なレクリエーショングループのブースがあつて、そこで合唱したり踊ったり遊技をしたりしている光景を毎年目の当りにしますが、日本のロータリーでは考えられない親睦活動の広がりとその温もりの実感を、まざまざと思い起します。中でも日本で誕生した唯一のものに「ロータリー囲碁同好会」があり、日、台、韓の会員を擁して夫々の国に支部が置かれ、毎年国際交流が行われていることは知る人ぞ知るです。

ロータリー親睦活動に類するものとして、一昨年10月に台湾のRI第3480地区からロータリアンとその家族から成るサイクリングチームが来訪し、しまなみ海道のサイクリングロードを疾走された際、当地区にあっては諏訪パストガバナーが窓口となり、尾道RC及び瀬戸田RCがお世話をして国際親善に努められた事例があります。これなども今月の月間行事にマッチするものと評価されて如かるべきでありましょう。

ややもすれば教条的になりがちな理詰めのロータリーの極根を離れ、偶には肩の力を抜いたロータリーの楽しみに浸るのも一興です。



ローターアクト第37回年次大会報告

2013-14年度

国際ロータリー第2710地区 ローターアクト代表 篠原 敬一郎

2014年4月5日(土)、6日(日)に山口県周南市、ホテルサンルート徳山にて「第2710地区ローターアクト第37回年次大会」が行われました。この年次大会は今年1年間、ローターアクトが活動してきた集大成を披露させて頂く一番大きな行事でございます。

1日目、5日(土)の開会式では木村周南市長、沖田ガバナーをはじめ多くのロータリアンの皆様、友好七地区のローターアクト、OB・OG、そして地区内のローターアクトの皆様が参加されました。式では木村周南市長、沖田ガバナー、木下青少年奉仕部会長よりご祝辞を賜りました。私は地区RA代表として今年活動してきた内容と、これまで支えて頂いた方々に感謝の言葉を述べさせていただきました。



式後の記念講演は前田パストガバナーより「未知との遭遇」「18歳から30歳の青少年にむけて」という演題で貴重なお話を頂きました。私達、18歳から30歳で今できること、やるべきことを学ぶことができ非常に参考となりました。貴重なお話感謝しております。

その後、各クラブの年間活動報告、地区年間活動報告を行いました。私は今年、2710地区のターゲットは「先行投資～未来の自分へ～」と掲げました。私達が活動していることは決して無駄ではなく、今自分に投資することによって将来、何倍にもなって自分にプラスとして返ってくるということを今一度、一人一人が感じてほしいという思いからこのターゲットで活動して参りました。また今年も年々課題となっていた「会員増強」に力を入れ、地区全体のプロジェクトとして取り組んで参りました。地区で様々な働きかけを行ったり、クラブ内でも一人一人が意識をもって取り組んで参りました。そして少しずつ活動してきたことが効果として表れ結果としてついてきております。

懇親会では会の途中で毎年恒例の余興、ダンスを行いました。女性メンバー、男性メンバーがそれぞれ披露した後、アンコールで一つの曲を各クラブが少しずつダンスで繋いでいき、曲のラストではガバナーをはじめロータリアンとローターアクトと一緒にダンスを行いました。この曲では今回の大会テーマ「一丸」の形を2710地区全体で作ることができ非常に盛り上がりました。余興に快く引き受けていただいたロータリアンの皆様、本当にありがとうございました。

2日目、6日(日)はメインプログラムを行い、今回は「七地区ローターアクト格付けチェック」を行いました。この内容は以前2回程、徳山RACで行った例会をもとに今

回は年次大会用にバージョンアップさせて頂きました。1チーム6、7名の計10チームでそれぞれ「一丸」となってアクトに関する格付けのクイズを解答して頂きました。クイズは見る、聞く、食べる、飲む、触るに関する内容を用意し、不正解の場合は一流アクターから普通アクターへどんどん格が下がっていくという内容です。メインプログラム自体は大変盛り上がり大盛況でした。

今回の趣旨として、準備する側、参加する側が存在してはじめて例会が成り立つということ、そして今回の格付けを通して一流ばかりではなく、いろんな格に分かれることによりその企画が盛り上がるということ、一つの例会を作り上げていくためには一人一人の役目が大切であることを最後に伝えました。



これが今回の大会テーマ「一丸」として私が掲げた本当のテーマの意味でもあります。今回のメインプログラムを通して今一度、私達の活動ではメンバー一人一人が大切であることを実感して頂き、今後の活動に役立てて頂きたいという思いで「先行投資」を行いました。今回は本当に大変意味のある素晴らしい内容となったと思います。ロータリアンをはじめに参加して頂いた方、ご協力して頂いた方、ホストとして準備して頂いた徳山RACの皆さん心より感謝しております。

午後からはまず今年から初めて取り入れることになった表彰式を行いました。「例会平均出席率最多クラブ賞」「会員増強最多クラブ賞」「新人賞」「イチ推しアクター賞」の4つの賞を用意し表彰させていただきました。当地区としては初めての試みでありましたが好評であったため、是非次年度以降も継続していけたらと存じます。

閉会式では松井RA委員長の講評を頂き2日間を振り返り有難いお言葉を頂きました。



2日間を通して今年、当地区で活動してきたことを報告させていただき、何より参加された方々に満足して帰って頂いたことに本当に嬉しく感じております。これも日頃より温かいご支援をして頂いているロータリーの皆様のお蔭でございます。心より感謝申し上げます。

これからも更にローターアクトのメンバー一人一人が成長していき、活発な活動をしていけるよう取り組んで参ります。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。



グループ5 IM報告

2013-14年度
国際ロータリー第2710地区 グループ5 ガバナー補佐 **金井 哲明**

国際ロータリー第2710地区グループ5のインターシティーミーティングは4月6日(日)柳井RCの引き受けて柳井クルーズホテルを会場に催されました。

岩国、柳井、岩国西、柳井西、岩国中央、の5クラブ218名の登録による会はガバナー補佐の点鐘で幕を開けました。

来賓に沖田ガバナー、西村パストガバナー、田村パストガバナー、小倉地区代表幹事、財団から八百谷委員長、藤本次年度ガバナー補佐、国際ロータリー第2520地区より気仙沼南RC熊谷会長以下、尾形様、小山様と仙台青葉RC大江様、当日の講師である気仙沼南RC「絆委員会」小野寺委員長と澤井副委員長をお迎えいたしました。



基調講演の前に田村パストガバナーからの報告があり、ニューオリンズの国際大会に第2520地区の皆さん(仙台青葉RC大江様)がブースを出し、被害の様子を伝えられ、世界のロータリアンと絆を作られました。この時の縁で2710地区と結びつきが出来た経緯を語られました。

2011.3.11、時あたかも「田村ガバナー誕生」に向けて慌しく準備に追われている最中でした。

震災3ヶ月後に「田村ガバナーエレクトと地区役員予定者」で気仙沼、南三陸、女川、石巻、塩釜等を視察、この時、世界の目は「東日本」に集まっており、各国のテレビクルーが、各所で取材インタビューしている姿を目撃しました。

ここから事業計画は震災支援中心となりました。

基調講演は「東日本大震災からその後」というテーマで小野寺様、澤井様をお願いをいたしました。

死者行方不明者18,000名以上、発生直後の避難者40万人以上、3月の雪混じりの天候の中、



人々はどのような行動を取り、対応したか、その様子をプロジェクターの映像を交えてお話をいただきましたが、胸に迫るものがありました。

復興の槌音は未だ高くないと聞いていますが、ロータリーの「世界大会」を是非とも2520地区で運営し「復興の証」とするという活動を支援し、エールを送りたいと思います。

次にボーイスカウト日本連盟が準備中の、2015年山口市阿知須・きらら浜で開催予定の「第23回世界スカウトジャンボリー」について村上会員(柳井RC)から、世界162カ国、約3万人の青少年が集い、約2週間のプログラムで展開される活動について説明があり、青少年奉仕の一環としてRCへ協力のお願がありました。

また財団からの報告として八百谷補助金小委員長より2013-14年度を振り返り、2014-15年に向けての申請状況等の説明をいただきました。

フォーラムにおいては「ロータリーと地域ニーズ」のテーマの基、岩国、岩国西、柳井西、岩国中央、柳井の順で各クラブと被災地との係わりや、進行中の事業、ならびに活動報告がされましたが、特に「地域ニーズ」においては「財団の夢計画」との位置付けに苦慮された1年であったと感じます。

懇親会は会場を移し、吉本の「山口県住みます芸人」『どさけん』さんが軽妙なおしゃべりと愛嬌のいい表情で会場を沸かし、広島を中心に活躍中の「ボールボーイ」の掛け合いの2部構成で和やかな楽しいひと時を過ごし閉会いたしました。

最後にIM運営に際し実行委員長を快く引き受けてもらった福田補佐幹事と5クラブ会員の皆様の協力に感謝とお礼を申し上げます。





グループ12 IM報告

2013-14年度

国際ロータリー第2710地区 グループ12 ガバナー補佐 豊浦 順海

グループ12のIMは、去る4月26日(土)午後1時より庄原グランドホテルを会場に、三次RC、東城RC、吉舎RC、三次中央RC、庄原RCの5クラブより154名の登録を得て開催をいたしました。

先ずもってご来賓沖田哲義ガバナー、前田茂パストガバナー、小倉國雄地区代表幹事、谷壮一郎次年度ガバナー補佐と5クラブの会長並びにロータリアンの皆様の御協力に対して心より感謝申し上げます。

この度のIMのテーマは、RIの「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」とし、フォーラムは「新しい奉仕活動への挑戦」とし、5クラブより奉仕活動の現状と将来への展望について意見発表をお願いしました。

私はこの度のIMを担当するに当たり私なりの思いがありました。それは、世界的規模のロータリークラブでありながら、ともすると内向きな保身になったり、奉仕することの意義が見えなくなったりしがちであります。そこで、広い視野で世界を見たり、私の存在を認識するようなことがあってもいいのではないかとこの思いでした。



この思いの元には、以前よりお世話になっている前国立天文台台長・広島大学特任教授で宇宙物理学者の観山正見博士のことがありました。何度か博士の宇宙と人間存在についての講演を聞いて非常に感銘をうけていました。ロータリアンの皆さんにも是非この話をきいていただきたいと思いました。そこで、実行委員会の立ち上げの際に、この度のIMは「視野は広く、奉仕は着実に」の構想のもとに開催したいことを申し入れ了解を得ました。

プログラムは、基調講演と意見発表と懇親会で構成しました。



基調講演は、観山正見博士の「宇宙とおかげさま」と題した宇宙の起源から地球や人間の宇宙との関わりについて、そして広大な宇宙のおかげさまで人間が存在していることなど、大変興味深く、思いを遠大な世界へと導

いてくださる講演で、参加者の皆さんに感銘を与えてくださいました。この講演には庄原格致高校の生徒を招待しました。

フォーラムは「新しい奉仕活動への挑戦」とし、5つのクラブから意見発表がありました。地域の高校・青少年との関わり、地域住民や生徒達と共に河川の浄化と蜚の養殖、地域の歴史的旧跡の整備、障害児施設への支援、3,000人の市民と地震・水害等に対処する防災フェアの実施、県の青年の家を運営するためロータリアンが中心となり森林の整備・運営に参加、地元の自治振興区のブランド米づくりに主導的役割を果たしたロータリアンの実例等様々な実状が発表されました。そして、ロータリーは弱者への奉仕活動は勿論であるが、地域社会の自治や町おこし等へも積極的に関わる奉仕活動を進めるべきであり、ロータリアン個人としても地域社会へ積極的に関わりを持つべきであるとの意見が陳述されました。



懇親会は、冒頭に庄原格致高校吹奏楽部の生徒さん達が、軽快なジャズをはじめ日頃の練習の成果を披露してくれました。食卓は庄原地産の料理を中心にバイキング形式で接待しました。当日は三次中央RCのホストでアメリカから三次高校に留学中のレン・マーガレット・クルーズさんの紹介と次年度の各クラブの会長・幹事の紹介がありました。



自画自賛になりますが、ご参加いただいた皆さんから好評をいただき、二年がかりで準備したIMは無事終了し、ホストクラブとして充実した楽しい一日でありました。

ご協力いただいた全ての皆様に心よりお礼申し上げます。



ガバナー月信編集委員会委員長挨拶

2013-14年度

国際ロータリー第2710地区 ガバナー月信編集委員長 **増井 聡彦**

2011年9月3日(土)午後13:30～15:15にシーモールパレス下関はまゆうの間で開催された2013年-2014年度第1回地区幹事会の席上で、2710地区ガバナー月信編集委員長の大役を拝命いたしました。ロータリー情報マニュアルには、ガバナー月信(Governor's Monthly letter)は「ガバナーは、地区内のクラブ会長と幹事それぞれに対して月信を発行するよう義務付けられている。この月信には、新クラブの結成、地区協議会、地区大会、国際大会、特筆すべき地区内の功績、複数クラブの注意を要する事項などを含めることが出来る。ガバナーは、ロータリアンに送る月信でRI地区表彰プログラムを推進するよう強く推奨されている。また、ガバナーはインターアクト・クラブにも月信を送るよう奨励されている」と用語説明しています。

当初、「ガバナー月信はウェブで配信できないか」という指摘もありましたが、地区内のロータリークラブのお話では全てウェブ配信というのはなかなか難しいということで、ガバナー月信を紙面にて編集することとなりました。

ガバナーからのレターという位置付けでガバナーの想いを手に取って読んでもらうという基本的方針とコスト面への配慮というコンセプトに従って編集委員会を運営していくこととなりました。

月信の主要事項としては、

1. ガバナーからのメッセージ
2. ガバナー補佐、パストガバナー、地区幹事、委員会、地区副幹事等からのメッセージ
3. 当月の主要行事の案内、お知らせ
4. クラブ会員増減・出席率の一覧
5. 新入会員の紹介、訃報
6. 文庫通信等

本年度の委員会の開催日と内容について以下の通りです。

- 第1回目委員会を平成25年4月12日(金)17:00から下関ロータリー事務局にて開催。
内容:委員の自己紹介
編集委員:増井聡彦(下関西ロータリークラブ)、松浦司(下関西ロータリークラブ)、要田二三子(下関中央ロータリークラブ)、濱崎進(下関北ロータリークラブ)、斉藤英樹(下関ロータリークラブ)、柳田宏治(下関ロータリークラブ)、村上幸男(下関ロータリークラブ)の皆様
- 第2回目委員会を平成25年4月22日(月)18:00から下関ロータリー事務局にて開催。

内容:予算面を考慮し、フルカラーにせず、2色刷りとする。但し、表紙については、海峡の街下関をイメージし、青系色とする。を会議で決定し、その後、編集委員で懇親会を開催しました。

- 第3回目委員会を平成25年6月11日(火)18:30から下関ロータリー事務局にて開催。
内容:月信創刊号の内容確認
- 第4回目委員会を平成25年7月11日(木)18:30から下関ロータリー事務局にて開催。
内容:8月号月信掲載内容チェック。
9月号月信内容打ち合わせ。以下同様。
- 第5回目委員会を平成25年9月13日(金)18:30から下関ロータリー事務局にて開催。
- 第6回目委員会を平成25年10月9日(水)18:30から下関ロータリー事務局にて開催。
- 第7回目委員会を平成25年11月11日(月)18:30から下関ロータリー事務局にて開催。
- 平成25年12月9日(月)18:30から委員会の中締めとして忘年会を開催。
- 第8回目委員会を平成26年1月14日(火)18:30からシーモールパレス下関にて開催。
- 第9回目委員会を平成26年2月6日(木)18:30からシーモールパレス下関にて開催。
- 第10回目委員会を平成26年3月10日(月)18:30からシーモールパレス下関にて開催。
- 第11回目委員会を平成26年4月8日(火)18:30からシーモールパレス下関にて開催。
- 第12回目委員会を平成26年5月12日(月)18:30からシーモールパレス下関にて開催。
- 第13回目委員会を平成26年6月9日(月)18:30からシーモールパレス下関にて開催。
- 平成26年6月20日(金)18:30から打上げを予定。

本年度の沖田ガバナーの方針は、「ガバナーからのメッセージだけではなく会員相互の交流の場としての月信を発信し、それを会員の方に読んで頂きたい。」その方針に基づき、地区内各クラブの活動を数多く掲載することと致しました。委員会の皆様と10回を超える会合を重ねた結果、ロータリークラブの友情とは何かを改めて感じました。ウェブだけではなく、紙面による月信が今後のロータリー活動にとって必要不可欠ではないかと意を強くしております。これからの月信に対する皆様のご意見ご感想がございましたら、是非お寄せ下さい。宜しくお願いたします。

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



国際ロータリー第2710地区 2013-14年度 74RCの会員増減・出席率 2014年4月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	83.52	90.43	32	30	4	2	4	-2
	下 関	4	82.6	80.86	47	47	2	5	5	0
	下関中央	4	73.26	80.74	30	27	4	1	4	-3
	下関東	4	77.96	84.3	46	49	0	6	3	3
	下関北	4	85.32	91.56	40	43	0	4	1	3
	下関西	5	82.78	81.91	38	37	1	1	2	-1
	油谷湾	4	95.84	98.99	13	12	0	0	1	-1
	計		83.04	86.97	246	245	11	19	20	-1
グループ2	萩	4	93.26	93.19	51	52	0	2	1	1
	萩 東	4	100	99.61	22	21	0	0	1	-1
	美 祢	4	76.85	76.61	26	25	0	1	2	-1
	小野田	4	86.58	85.6	41	41	2	2	2	0
	宇 部	4	91.73	89.79	49	51	2	6	4	2
	宇部東	4	68.46	69.17	17	16	2	0	1	-1
	宇部西	4	92.39	91.97	53	50	1	3	6	-3
	計		87.04	86.56	259	256	7	14	17	-3
グループ3	防 府	4	80.39	87.63	51	52	0	5	4	1
	防府北	4	82.89	79.39	20	19	2	2	3	-1
	防府南	4	81.53	80.89	33	37	8	5	1	4
	山 口	5	95.67	95.09	55	59	3	8	4	4
	山口県央	4	96.35	94.86	32	35	1	4	1	3
	山口南	4	89.08	87.53	38	39	4	2	1	1
計		87.65	87.56	229	241	18	26	14	12	
グループ4	光	3	93.73	91.52	48	45	0	1	4	-3
	周南西	3	93.5	93.89	43	45	5	3	1	2
	徳 山	4	92.18	94.49	45	50	1	9	4	5
	徳山北	3	87.78	86.62	31	30	1	1	2	-1
計		92.76	92.51	220	222	7	14	12	2	
グループ5	岩 国	4	85.08	78.12	62	63	0	5	4	1
	岩国中央	4	94.55	90.14	40	41	3	2	1	1
	岩国西	4	89.39	86.27	56	55	3	3	4	-1
	柳 井	4	100	99.67	33	35	2	7	5	2
計		93.8	90.59	219	222	10	20	17	3	
グループ6	広 島	4	98.67	99.38	106	116	0	15	5	10
	広島安芸	4	96.68	98	39	40	2	1	0	1
	広島安佐	4	82.14	85.42	20	21	1	2	1	1
	広島東	4	98.22	98.31	90	90	4	5	5	0
	広島北	4	100	100	80	83	0	6	3	3
	広島陵北	4	99.55	98.96	46	55	3	9	0	9
計		94.73	95.63	412	437	10	41	16	25	

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本 年 度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	4	100	99.96	69	71	9	7	5	2
	広島廿日市	3	90.35	90.31	37	38	1	1	0	1
	広島城南	4	96.55	98.22	55	58	3	3	0	3
	広島南	4	99.41	99.6	89	91	0	3	1	2
	広島東南	3	100	100	86	85	9	4	5	-1
	広島西南	4	100	100	57	63	4	10	4	6
	広島西	4	100	100	78	78	0	3	3	0
	計		98.04	98.3	471	484	26	31	18	13
グループ8	江田島	4	94.87	91.58	19	20	0	3	2	1
	東広島	4	100	99.76	30	31	2	1	0	1
	東広島21	4	78.06	80.66	18	18	5	1	1	0
	呉	4	90.54	91.02	68	72	1	7	3	4
	呉 東	4	95.44	93.04	33	28	0	1	6	-5
	呉 南	4	93.03	92.27	55	55	4	3	3	0
	西 条	4	100	100	40	40	1	3	3	0
	計		93.13	92.62	263	264	13	19	18	1
グループ9	広島空港	4	85.77	84.95	21	22	3	2	1	1
	因 島	4	90.31	87.29	24	27	1	3	0	3
	三 原	4	92.86	93.46	63	65	2	2	0	2
	尾 道	5	84.36	85.28	70	73	3	6	3	3
	尾道東	5	93.54	91.07	50	50	0	2	2	0
	瀬戸田	3	85.7	87.32	7	7	0	1	1	0
	竹 原	4	93.25	89.98	35	34	4	2	3	-1
	計		89.4	88.48	270	278	13	18	10	8
グループ10	府 中	4	91.96	85.96	33	32	0	0	1	-1
	福 山	3	97.7	96	74	80	0	15	9	6
	福山東	4	89.68	90.81	50	49	3	2	3	-1
	福山丸之内	4	96.97	97.78	34	33	1	0	1	-1
	鞆の浦	4	80.44	81.16	27	23	0	0	4	-4
	福山REC2710	4	94.65	97.54	27	28	4	4	3	1
計		91.90	91.54	245	245	8	21	21	0	
グループ11	福山赤坂	4	80.02	76.42	42	45	4	3	0	3
	福山北	4	95.11	97.21	46	47	0	3	2	1
	福山南	4	82.25	83.36	58	62	2	5	1	4
	福山西	4	92.44	93.65	38	43	3	5	0	5
計		87.65	88.17	230	246	11	19	3	16	
グループ12	吉 舎	4	98.53	97.83	17	17	0	0	0	0
	三 次	4	84.74	77.87	40	41	0	3	2	1
	三次中央	4	91.58	92.2	44	44	5	1	1	0
	庄 原	4	94.52	90.51	35	33	4	1	3	-2
	東 城	5	79.05	85.04	21	21	1	1	1	0
計		89.68	88.69	157	156	10	6	7	-1	
第2710地区計		90.47	90.38	3221	3296	144	248	173	75	

新入会員紹介

豊田 修治 長門RC 2014年4月8日 地方銀行	今西 勝也 下関RC 2014年4月28日 証券業	高垣 義生 下関北RC 2014年4月8日 文具	古谷 将 防府南RC 2014年4月3日 医薬品製造業	桶谷 祥太郎 山口RC 2014年4月2日 百貨店	梶原 貞次郎 山口RC 2014年4月9日 警備	牧尾 雅明 山口RC 2014年4月30日 衛星通信	石田 博俊 柳井RC 2014年4月1日 貴金属販売	花本 達彦 柳井RC 2014年4月15日 普通銀行

中村 一朗 広島RC 2014年4月1日 食品配布	下川 信宏 広島北RC 2014年4月17日 税理士	松苗 弥生 広島城南RC 2014年4月4日 飲食店経営	藤崎 健次郎 広島西南RC 2014年4月1日 一般土木建設工事業	桑田 徹也 江田島RC 2014年4月17日 自動車整備修理	神原 紳造 西条RC 2014年4月6日 銀行	林 直樹 西条RC 2014年4月3日 信用金庫	高垣 孝久 尾道RC 2014年4月4日 洋品配布	井上 盛文 竹原RC 2014年4月24日 司法書士

平山 正輝 福山RC 2014年4月7日 総合金融サービス業	西原 高三 福山RC 2014年4月7日 証券業	和木 俊二 福山RC 2014年4月7日 信用金庫	安谷 誠 福山南RC 2014年4月24日 生命保険	沖土居 克己 三次中央RC 2014年4月14日 信用金庫

謹んで追悼の意を表します



瀬戸田RC
故 耕三寺 弘三 殿

2014年4月12日ご逝去
(享年86歳)
■ロータリー歴
1976-1977 分区代理
1970-1971 会長
1987-1988 会長
ポール・ハリス・フェロー
本山功労者
ベネファクター

■職業分類
博物館



広島西南RC
故 大国 七蔵 殿

2014年4月29日ご逝去
(享年85歳)
■ロータリー歴
1988-89 副会長
1989-90 会長
2003-04 G7ガバナー補佐
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
本山功労者3回

■職業分類
靴・履物卸売業

文庫 通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

320号

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介をいたします。

■ロータリー情報

ロータリー活動で感じたこと	田中 作次	2014	5p	(D.2550月信)
日本ロータリーの精神伝統 その1・2	深川 純一	2010	2p	伊丹R.C. (純ちゃんのコーナー Part IX)
ロータリーの伝統 その1~3	深川 純一	2013	3p	伊丹R.C. (純ちゃんのコーナー Part XII)
少会員クラブの運営に思うこと	安孫子貞夫	2014	1p	(D.2800月信)
ロータリアンその使命と魅力	大迫 三郎	2013	3p	(D.2730月信)
ロータリーの原点とは?	本田 博己	2013	3p	(D.2840月信)
ロータリー理解推進月間よせて「温故知新」奉仕の理想など	諏訪 昭登	2014	1p	(D.2710月信)
ロータリー・ファミリーの素晴らしさ	飯村 慎一	2013	1p	(D.2550月信)
あの素晴らしいMR. ハリスと世界を変えたそのクラブ	肥爪 彰夫 訳	2012	15p	R.I.
驚くべきポリオの話! (ロータリーの冒険)	肥爪 彰夫 訳	2013	15p	R.I.

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL: (03)3433-6456 FAX: (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館: 午前10時~午後5時 休館: 土・日・祝祭日

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F

TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: <http://ri2710.com/>